

七転八起

強い繋げる勇気があるのなら、

全ての誓は必ず実現する

(ウォルト・ディズニー)

第 3 号

2019 年6月6日発行

6月に入りました。今月から衣替えとなり、見た目だけではなく、気持ちもかるやかな夏モードへとシフトチェンジし、皆さんの笑顔がいつも以上に眩しく感じられます。

もうすっかり高校生活にも慣れ、毎日友達と楽しそうに過ごしている皆さんの姿が見受けられます。5月には遠足や新体力テストなどの行事があり、クラスの枠を超えた交友関係も広がったことでしょう。

さて、気持ちも緩んでしまいがちなこの時期ですが、今月は前期中間考査があります。2週間以上前で、まだピンときていない人もいるかもしれませんので、今月号の学年通信で定期考査についての確認をして、中間考査に臨む準備をしましょう。

🌈🌈🌈🌈🌈🌈定期考査って？🌈🌈🌈🌈🌈🌈

中学校時代の定期試験と基本的には一緒です。しかし、高校の定期考査には超えなければならないラインが存在します。それは赤点(24点)です。

本校の実務選択コースでは、25 点未満を赤点と定めていますが、これは決して高い壁ではありません。考査の目標平均点を 60 点と据えている学年ですので、皆さんには簡単に超えていただきたいと考えています。

また、すべての科目において、定期考査の点数、提出物の状況や授業態度などから総合成績が出されますが、その中でも定期考査の点数が総合成績の多くの割合を占めています。そのため、定期考査で赤点を取らないことが必要不可欠になってくるのです。

もしも、学年総合成績で1科目でも赤点(評定1)になってしまった場合は、単位が認められず、2年生に進級することができません。そのようなことにならないよう、しっかりと勉強して定期考査に臨んでください。

さらに、体調管理も重要になってきます。考査当日の欠席は0点の扱いです。余裕を持って学習を進めるとともに、体調管理にも気を配ってください。

皆さんにとって高校生活最初の定期考査です。良いスタートがされることを期待しています。

🌈🌈🌈🌈🌈🌈5/21 遠足(BBQ)の様子🌈🌈🌈🌈🌈🌈



🌈🌈🌈🌈🌈🌈今後の予定🌈🌈🌈🌈🌈🌈

日付	予定
6 月 18 日(火)	前期中間考査(21日(金)まで)
21 日(金)	校内進路ガイダンス

🌈🌈🌈🌈🌈🌈保護者の皆様へ🌈🌈🌈🌈🌈🌈

5月2日(月)に授業参観・PTA総会・クラス懇談会が開催され、多くの保護者の方にご来校いただき、授業参観等を通して、学校生活の様子の一部をご覧いただきました。また、クラス懇談会では、各ホームルーム担任と生徒の状況や学校・クラス運営方針、今後の学校生活について熱心に話し合われていました。お忙しい中、ご来校いただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。残念ながら今回欠席された保護者の方々におかれましても、生徒を通じて資料がわたっていると思いますので、一読いただきますとともに、今後ご理解とご協力をお願い申し上げます。

TKPコラムVol.3

「いちばん人間にとって大事なこと」

学年主任 末松孝治

5月1日、平成から令和へと時代が移り変わりました。時代の歴史的目撃者となった皆さんは、この日をどのように過ごしましたか。私は、令和という新しい時代の到来に胸躍らせつつ、子どもと一緒に劇場へ映画『ドラえもん のび太の月面探査記』の鑑賞に出かけました。ドラえもんの映画を映画館で見るのは、小学生以来でした。当時、どうしてもドラえもんの映画が見たくて、友達と電車に乗って、遠くの映画館へ行きました。それは、小学生の私にとっては大冒険だったことを今でも覚えています。ちなみに昭和時代のことです。

さて、ドラえもんの映画といえば、『のび太の結婚前夜』（約27分の短編作品）というお話をご存じでしょうか。これは、1999年に『ドラえもん のび太の宇宙漂流記』と同時上映公開されたドラえもんの映画作品です。

内容は、ある日のび太は、しずかちゃんと出木杉くんが仲良く学芸会の出し物「白雪姫」の劇の練習をしているところを見て、本当に将来、自分としずかちゃんが結婚できるのかどうか不安になりました。そこで、ドラえもんと一緒にタイムマシンに乗って、結婚式の日に行こうとしますが設定を間違えて前日に来てしまいました。2人はせっかくだからと、未来ののび太の結婚前日の様子を見ていくことにしたのです。その夜、しずかちゃんは、結婚前夜のお別れパーティをお父さん、お母さんと3人でしました。その後、しずかちゃんは、のび太との結婚生活をうまくやっていけるのか心配になり、さらに親が寂しがってしまうのではないかと両親と別れるのを拒み、涙を流しながら、お父さんに「私、お嫁に行くのやめる！！」と言ったのです。

それを見た未来ののび太は大慌て。その時、お父さんは、娘にこう語りかけました。「さぁ涙をふいて！キミはこれからもっと幸せになるんだから！」「のび太くんを信じなさい。のび太くんを選んだきみの判断は正しかったと思うよ」「あの青年は人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことのできる人だ。それが、いちばん人間にとって大事なことなんだからね」「彼なら、まちがいなくキミを幸せにしてくれると僕は信じているよ」

この言葉により、しずかちゃんはあらためて、のび太との結婚を決意したのです。

確かに、のび太には、たくさんの欠点がありますが、他人の幸せを祝福できて、何より、「人の痛みがわかる人間」だと、しずかちゃんのお父さんは言ってくれているように思います。そして、これが「人間にとって一番大切なこと」であると。

皆さんにとっては、この先も長い人生です。これからの生活の中で、他者を傷つけたり、他者から傷つけられたりということもあるでしょう。しかし、大切なことは「人の痛みがわかること、人の痛みを知ること」です。すなわち、「他者を思いやる気持ちを持つこと」です。

スマホ時代のキミたちへ、しずかちゃんのお父さんからのメッセージです。

TKPコラムVol.4

「片手で食べられるかき氷を考える」

学年主任 末松孝治

今年の4月から何年かぶりに、『くらしの中の経済』という選択授業を担当することになりました。お金と生活は切っても切り離せない関係にあり、普段何気なく使用している「お金のこと」をもっと詳しく知ること、くらしの中の学びや気づきを得るとともに、将来の経済的自立に結び付けることを目標に立ち上った授業です。しかし、以前、行っていた授業は、私からの一方通行的なものでした。そこで、今回は授業の中心をグループワークにシフトして、生徒たちに考えさせる授業へと変換させています。

初回の授業のグループワークのテーマは「片手で食べられるかき氷を考える」です。夏の縁日には欠かせないかき氷、しかし、かき氷を食べるときは、片手で器を持って、もう一方の手でスプーンを持ちますので、どうしても両手がふさがってしまいます。でも、スマホが手放せない現代ですから、通話もしたい。LINEもしたい。インスタ映えする画像だって撮りたい。なんとかしてかき氷を片手で食べられないでしょうか？

この間に各グループで話し合い、考えてもらいました。そして、15分後各グループの発表が行われ、「かき氷を溶かして、ジュース状態にしてから飲む」「タピオカジュースに使う太いストローを使って吸う」「ソフトクリームのワッフルコーンのなかにかき氷を入れる」「台の上にかき氷のカップを置いて、片手でかき氷を食べながら、もう片方の手でスマホを操作する」という意見がでました。

もちろん正解なんてありませんが、実はこの間に真面目に向き合ってきた企業がありました。その頃はスマホなんてない時代でしたが…。それは、赤城乳業という会社で、君たちも一度は口にしたことのある、あの「ガリガリ君」を作っている会社です。まさに、「ガリガリ君は片手で食べられるかき氷」ですよ。

この話をしたとき、生徒たちは「なんだ、ちゃんと答えがあるじゃん」という顔をしていましたが、グループワークを通して、（考える→自分の答えを伝える→他者の意見を聞く→グループとしての答えを導き出す→発表する→他のグループの意見を聞くなど）少しでも思考力や判断力、表現力の向上を目指していきたくて考えています。

教育改革実践家で、奈良市立一条高校校長の藤原和博先生は「アクティブ・ラーニング型の授業」のことを「生徒が寝ない授業」と一言で表現しています。まだまだ、アクティブ・ラーニングと呼ぶには内容の浅い授業ですが、『くらしの中の経済』では生徒が眠くならない授業の実践に取り組んでいきます。

そう言えば、テーマの「片手で食べられるかき氷を考える」ですが、最後にどうやって経済に結び付けたかというところ、「人が考えないことを考えて、それを商品化して、ヒットするとたくさんのお金とのご縁をいただくよ」とまとめました。

私自身もかれこれ20年ぐらい、車のワイパーに変わる商品を考えていますが、いまだに考えつきません。